

道路協力団体との協働について

香川河川国道事務所 道路調査課 和田 耕治
香川河川国道事務所 道路管理第一課長 植松 章夫

香川河川国道事務所では、道路協力団体として指定（平成28年12月指定）された団体と協力し、地域の魅力向上と道路愛護について、地域住民のご理解とご協力を頂くことを目的に、「むれ源平まつり&ふれあい四国路2017 in源平」のイベントを平成29年12月に「道の駅」源平の里むれにて開催したので、その取組等について紹介するものである。

キーワード 道路協力団体、ボランティア・サポート・プログラム、道の駅、道路管理

1. はじめに

国土交通省では、直轄国道を対象として地域住民や企業が道路を慈しみ、地域を綺麗にしたいという自然な気持ちを形あるものにしよと考えだされたアメリカの「アダプト・ア・ハイウェイ・プログラム」をヒントに、道路の清掃や植樹管理を支援する「ボランティア・サポート・プログラム」制度を平成12年度に策定し、導入してきた。

そして昨年12月、道路法の改正により「道路協力団体制度」が創生され、民間団体の自発活動を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ることとなった。

今回、道路協力団体として指定（平成28年12月）された団体と協力し、地域の魅力向上と道路愛護について、地域住民の理解と協力をお願い、及び地域活動のより一層の活性化を図ることを目的に、「むれ源平まつり&ふれあい四国路2017 in源平」を開催したので、その取組等について紹介するものである。



図-1 イベントチラシ

2. 「牟礼源平まつり」について

平成28年12月に指定された道路協力団体は、全国で26団体あり、そのうち香川県では3団体が指定されている。その3団体が実行委員会を構成し、指定後1年を契機に「道の駅」源平の里むれ（香川県高松市牟礼町）にて関係機関と連携したイベント「牟礼源平まつり&ふれあい四国路2017 in源平」を平成29年12月3日に開催した。

香川の道路協力団体は、牟礼香川グリーンクラブ、屋島を良くする会、NPO法人四国の道路サポートクラブの3団体が指定されており、イベントに向けて、約3ヶ月前から定期的に準備会を香川河川国道事務所等で開催し、様々なアイデアを出し合いながら実施内容を決めて行った。また、道路管理者側である香川河川国道事務所も後援する立場として、イベント開催に必要な協力を積極的に行い、道路協力団体と連携しながら準備を進めて行った。

イベントの名称は、道路協力団体の活動場所である「道の駅」源平の里むれが、源平屋島合戦の古戦場として知られている場所に位置していること、そしてその「道の駅」が開駅10周年の節目を迎えるこ



図-2 準備会の状況

とから「むれ源平まつり」と名付けられた。

イベントの内容は、『オープニングセレモニー』、『タイムカプセル開封』、『キッズダンス』、『アマチュアバンド演奏』により構成され、道路協力団体による『物販』も催された。

『タイムカプセル開封』では、今年開駅10周年を迎えた「道の駅 源平の里むれ」にて、当時の小学生が石のモニュメント内に収めた、「二十歳の私」に宛てたメッセージを開封し、大はしゃぎしながらメッセージを振り返っていた。その後、子供達による元気で活気ある『キッズダンス』、地元有志による素晴らしい『アマチュアバンド演奏』へと進み、主催者側の予想を上回る約600名の参加者とともに、イベントは盛大に開催することができた。

その中で、道路協力団体が行った『物販』では、唐揚げ、甘酒などが販売されたものの、当日の売り

上げは約5万円、利益は1千円のマイナスに留まったため、道路ボランティア活動へ還元できるほどの利益を如何に生み出すかと言う点が、今後の課題として残った。

3. 「ふれあい四国路2017 in源平」について

「ふれあい四国路」とは、四国が一つになり、道路を慈しみボランティア活動がより盛んになり、さらに美しいまち、美しい四国路になることを願い四国4県と国土交通省の道路ボランティア活動の総称として公募により名付けられたものであり、現在登録されている団体数は408団体（平成29年3月末現在）にのぼっている。



図-3 準備会の状況



図-5 アマチュアバンド演奏



図-4 キッズダンス



図-6 物販（唐揚げ等）



図-7 キャラクター「あいか」

四国では、毎年4県持ち回りで道路ボランティアの交流会を行っており、今回で16回目を迎えた。午前に行われた「むれ源平まつり」に引き続き、香川県内の道路協力団体である3団体のほか、平成28年12月に指定された四国内の他の2団体を加え、「ふれあい四国路2017 in源平」の交流会を開催した。交流会では、泉川校区まちづくり連合自治会（愛

媛県新居浜市）、NPO法人新町川を守る会（徳島県徳島市）、牟礼香川グリーンクラブ（香川県高松市）、屋島を良くする会（香川県高松市）、NPO法人四国の道サポータクラブ（香川県高松市）の5つの道路協力団体が活動報告と併せて、日頃の活動内容や収益活動について報告が行われた。

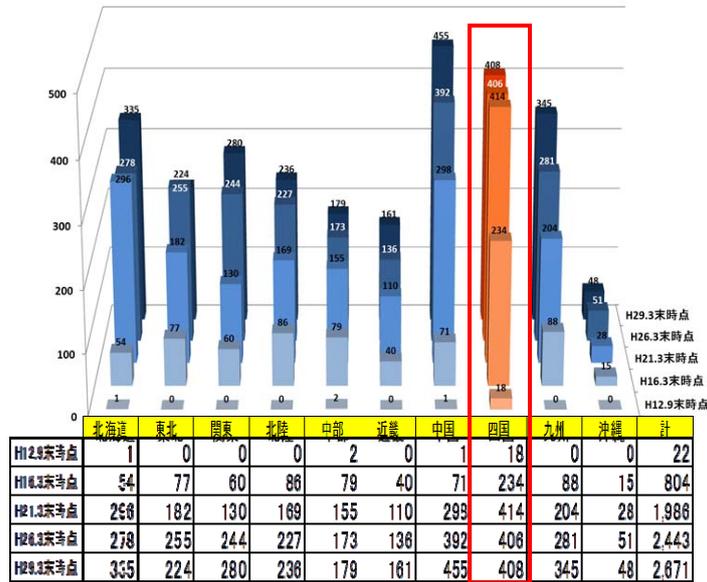


図- 8 道路ボランティア活動登録団体件数（コンビニ等除く）（国道交通省調べ H29.3 現在）



図- 9 「泉川校区まちづくり連合自治会（愛媛県新居浜市）」の活動報告より抜粋



図- 10 「新町川を守る会（徳島県徳島市）」の活動報告より抜粋



図- 11 「牟礼香川グリーンクラブ（香川県高松市）」の活動報告より抜粋



図- 12 「屋島をよくする会（香川県高松市）」の活動報告より抜粋



図- 13 「NPO 法人四国の道路サポートクラブ（香川県高松市）」の活動報告より抜粋

4. おわりに

道路に関する事業は、過去においては計画から管理までを道路管理者のみ実施していたが、道路管理延長は増加傾向にあり、地域住民が『住んでいるまちの道路を綺麗にしたい』、『地域にあった道路づくりをしたい』、『魅力ある地域にしたい』というニーズ・意識が高揚する中、行政機関とボランティアが協働する時代に変化しており、その中でも道路協力団体の協力は必要不可欠なものとなっている。

また、道路協力団体などの道路ボランティアについては、次の世代を担う若者がいないこと、リーダーが世代交代をした後をどうするのが懸案事項と

なっており、若者が道路協力団体等に参加しやすいシステムづくりが必要となっている。

道路協力団体と連携した今回のイベントは、大きなトラブルもなく無事に終える事が出来たが、道路協力団体制度の業務内容である「得られた利益を道路の維持管理に還元」という点で、新たな一歩を踏み出したが、まだまだ課題が残る結果となった。しかし、今回の交流会での情報交換は、今後の活動に役立つものと考えられる。

今後このような活動が継続し、活力ある地域づくりをしていくためにも道路協力団体との連携が必要であり、道路管理者も知恵を絞り、活動を支援していくことが重要であると考えられる。